

憩いの時間がゆったりと流れる

あいねすとで鳥の観察を楽しもう

5月10日から16日の1週間は愛鳥週間です。市内でも鳥を見ることができますが、特にあいねすと(行徳野鳥観察舎)からはさまざまな種類の鳥を観察できます。そのほか、近辺で観察できる、生き物などもあわせて紹介します。

図 702-8045 あいねすと(行徳野鳥観察舎)

年 …1年中見られます
冬 …秋～春に見られます
夏 …春～秋に見られます
秋 …秋に見られます

あいねすとから見られる いろいろな鳥

大切なお願い
野鳥や野生の生き物にエサを与えないください。営巣中の鳥を見つけたらそっと離れましょう。



ダイサギ

白くて大きくて優雅。夏羽はレースのようです



ユリカモメ

赤いくちバシと脚がおしゃれなカモメです

ロシアから
3000キロの
旅をしてきたよ



オナガガモ(雄)

冬の渡り鳥です。こげ茶と白のおしゃれな姿です



カンムリカイツブリ

冬の渡り鳥。春には頭に飾り羽が生えます



ヒクイナ

ヨシ原を駆け抜ける、千葉県最重要保護生物です



メジロ

花の蜜が大好き。サクラによく来ます



アオサギ

翼を広げると170センチと大型です。実は周辺緑地で子育てをしています



オオタカ

意外に近くの木にとまっていることもあります



シジュウカラ

一年中見られる鳥です。春には良い声でさえずります



カルガモ

空を飛ぶ姿もよく見られます。最もポピュラーなカモです

丸浜川で
子育てもします



オオバン

白いくちバシとオデコが特徴です

行徳鳥獣保護区の中で 見られる生き物

大きいものは
20センチメートルに
なるよ



ツルタケ

保護区の観察路脇でよく見かける大型のキノコです



ペンケイガニ

保護区の中にたくさん住んでいます。木立の下で赤い色が目立ちます



ヤマトオサガニ

干潟にたくさんいるカニ。望遠鏡でも見えます



トビハゼ

泥干潟の人気者。保護区は日本のトビハゼ生息地の北限です



ウラギク

絶滅危惧種ですが保護区内にはたくさん咲いています

丸浜川を彩る花と緑



カメノコテントウ

オニグルミにつくハムシの仲間を食べにくる大きなテントウムシです

オニグルミの実

丸浜川沿いに生えています。初夏に実が青くふくらみます



トベラの実

海岸を好み、丸い実が割れると真っ赤な種があります



シャリンバイの花

甘い香りがします。少しピンクがかって見えます

現在の展示などの紹介



季節の鳥たち

2階観察スペースには、季節の鳥たちの写真パネルがあります。また近郊緑地の季節を感じられるよう、植物や動物の写真を随所に展示しています。来館した子どもたちの絵画などの作品も楽しめください。



あいねすと (行徳野鳥観察舎)

福栄4-22-11
702-8045
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日、年末年始(月曜日が祝日の場合は翌平日)

行徳鳥獣保護区について 普段立ち入り禁止ですが、定期的に自然に親しむ県主催の観察会が催されています。

I'NEST CAFE

豊かな自然に囲まれながら、ほっこり一息つくコーヒーで、ゆったりとした時間をお過ごしください。
(現在新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時休止中)

